関西自然保護機構会報

No.15

目　　次

巻　頭　言

アフリカに寄せて思う……川那部　浩　哉……1

シンポジウム〝淀川の自然〟――その現状と将来――

淀川の河川敷公園と自然保全の歩み……村　上　興　正……3

「鵜殿のヨシ原」の保全……小　山　弘　道……13

ワンド・タマリの保全……紀　平　　肇……19

長　田　芳　和

木　村　英　造

鳥にとっての淀川……高　田　直　俊……27

淀川で泳ぐ……藤　田　修　二……35

淀川のあるべき姿－生態学的立場から……川那部　浩　哉……37

総合討論……48

書評　西村登著「ヒゲナガカワトビケラ」……竹　門　康　弘……34

春日大社境内のナギ林の生態……菅　沼　孝　之……55

菅山寺のブナ林の現状……下　野　義　人……69

稲　葉　真由美

会務報告……78

1988年3月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization of Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイサリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会報・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力